

県会議員 奥村のり子の
しん 赤旗 読者ニュース



2012年 9月30日 第58号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
電話&FAX 073-427-7121

福島県の把握では
和歌山県への避難は59人

のり子の
福島視察
報告④

子ども放射線検査は福島でしか受けられず

福島県庁で原発事故避難者への生活支援の状況と原発事故の農林水産業への影響と対応について県当局にお聞きしました。当局が把握している和歌山県への避難者は59人いらっしゃるということでした。子どもの放射線の影響についての検査は避難先ではできず、福島県に戻らなければできないということですので。検査機器も特別なもので各自治体内に備わっているのは少ないということでした。また、避難されている方々に対して福島地方紙を送っているといわれていましたが和歌山県には送られていませんでした。

牧場に立てられている看板



「希望の牛達を生かして」、「殺処分、餓死はやめよう」との願いが書かれています

その後、有田川町において福島県の郡山から避難されている方のお話を聞く会があり、地方紙を送ってもらえることをお伝えすると大変喜ばれていました。

農林水産業については環境回復

が大きな問題となっています。環境放射線等モニタリングの充実・強化や森林・農地の除染や農林水産物の放射性物質の徹底的な検査・分析と、消費者に向けた情報発信と安全確保に取り組まれているということでした。次号は日本共産党の福島県議団との懇談の模様をお伝えします。

情報公開請求に手数料を徴収

県議会総務委

県議会総務委員会では、主に情報公開条例の改正について質問。今まで県に情報公開を請求し、閲覧する場合は無料、写しの交付を受ける場合は一枚100円の実費負担となっていました。それを来年から閲覧するだけでも書類4枚当たり100円の手数料を取るといふものです。

現在、全国的にみても都道府県で手数料を取るところは東京都と香川県だけです。静岡県では以前は取っていたものの県民の批判を受けて無料にしました。県は「不適正な請求を抑制するため」と説明していますが、実際にはそのような事例は、去年は1件あったのみでした。

手数料を導入してもそれが抑制されるという保証もありません。反対に正当な権利行使として県民が情報公開する場合にも4枚書類をめぐることに100円取られるというのは、県民の権利を抑制するものです。

日本共産党県議団は反対していますが、市民オンブズマンからも「県は情報公開をお荷物のように扱い、デメリットばかり強調するが、オンブズマンの指摘したものでなくてもこの8年間で9億円もの税金の無駄遣いを返還させている」との意見が出されています。(高田由一)

リレートーク Relay

野田首相があざられた発言

9月21日、ある政治家が次のようにのべました。「笑顔が広がる国をみなさんといっしょにつくりたい」。私の言葉ではありません。私も同じような表現で訴えたことがあります。この日の発言は、民主党政代表選挙で当選を決めた直後の野田首相のものです。

よく言えたものです。国民の反対をおしきって消費税増税の法律を強行し、原発ゼロは言葉だけで何の裏づけもない方針を決めておいて、「笑顔が広がる」とは、あきれてしまいます。国民は怒り心頭に発しています。



増税と原発強行では、笑顔になれません

原発ゼロなどを訴えて毎週金曜日に実施されている首相官邸前の行動が全国に波及しています。14日の行動は「しんぶん赤旗」が43都道府県、91カ所について取材しました。県内では和歌山市と新宮市で、毎週の行動が継続中です。私が参加した和歌山市・関電前での初回の行動は7人。その後、じわじわ増えていきます。官邸前では、「貧困なくせ!」「TPP反対!」の行動も続いています。

国民の命を守り、生活に希望と安心が得られる、真に「笑顔が広がる国づくり」をめざして、世論と運動の前進、日本共産党の躍進へ力を尽くします。

(写真は原発再稼働反対、社会保障切捨てるな、などを訴えた雄湊公園での集会で、おくむら県議と11月9日)

- 9月28日 市駅・吉宗公前朝宣伝、地域訪問
- 29日 国民救援会総会
- 30日 ウオーキング実行委員会、河西後援会、日中友好協会観月祭
- 10月1日 地区社保部会
- 2日、4日 福祉環境委員会視察

党県・国政事務所長
くにしげ秀明



当コーナーは国重さんと市議(候補含む)の連載です。